

# 平成30年度 学校経営方針

京都市立養正小学校

## 小中一貫教育目標

### 小中9年間で「生きる力」を育む

～子どもの命・人権を守りきる小中一貫した学校づくり～



## 学校教育目標

### 子どもの良さや可能性を最大限に伸ばす養正教育の推進

- |                           |         |
|---------------------------|---------|
| ○主体的に学ぶ意欲と自ら考え、表現する力の育成   | 【学 力】   |
| ○互いの良さを認め、共に高め合う学習集団の育成   | 【人 権】   |
| ○人との関わりを楽しむ豊かな心と規範意識の育成   | 【豊かな心】  |
| ○望ましい生活習慣の定着と健康でたくましい体の育成 | 【健やかな体】 |



## めざす子ども像

- |                  |         |
|------------------|---------|
| すすんで考え、表現する子     | 【学 力】   |
| 自分や仲間の良さを認められる子  | 【人 権】   |
| きまりを守り、楽しく活動する子  | 【豊かな心】  |
| 運動に親しみ、健康な生活をする子 | 【健やかな体】 |

### 1 めざす子ども像の具体化

#### 「すすんで考え、表現する子」

- \*授業での約束や学び方を身に付け、意欲的に学習する子ども
- \*基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、家庭学習が習慣化している子ども
- \*考えながら聴き、考えたことや気付いたことを分かりやすく表現する子ども

#### 「自分や仲間の良さを認められる子」

- \*自分の良さに気づき、その良さをさらに伸ばしたり、役立てたりできる子ども
- \*友だちの良さや頑張りを素直に認められる子ども
- \*様々な人と積極的に関わり、望ましい関わり方を身に付けた子ども

#### 「きまりを守り、楽しく活動する子」

- \*学級・学校・社会のきまりや約束を守るなど、規範意識を身に付けた子ども
- \*仲間と協力しながら、責任をもって当番や係などの役割を果たす子ども
- \*身近な人との関わりを楽しみ、相手や場に応じた言葉づかいができる子ども

#### 「運動に親しみ、健康な生活をする子」

- \*命の大切さを認識し、自他の安全を考えて行動ができる子ども
- \*食事・歯みがき・睡眠・運動・学習などの基本的な生活習慣を身に付けた子ども
- \*積極的に運動や外遊びに取り組み、健康でたくましい体を育む子ども

## 2 学校運営の基本方針 ～本校児童の課題克服に向けて～

- ①全教職員が、3部会からの提案を中心に会議や研修等で確認されたことを組織的かつ継続的に実践する。【徹底】
- ②個々の教職員が、職務に応じた具体的な自己目標をもち、日々の実践や研修参加を通して自らの力量（指導力）や人権感覚の向上をめざす。（「京都市教員等の資質の向上に関する指標」参照）【研 鑽】
- ③学力向上と生活習慣の定着を重点課題とする。毎時間の授業や日々の取組のねらいを明確にして教材研究や準備に励み、授業や取組の中で生徒指導・生活指導を実践する。【結 果】
- ④全教職員が、組織の一員として積極的に学校運営に参画し、カリキュラム・マネジメントの視点から教育課程や教育内容の見直しを進める。【参 画】

## 3 今年度の取組の重点

### （〇）「教職員の組織力」「教育環境」

- \* 風通しの良さ、コミュニケーション、明るい雰囲気のある職場づくり  
⇒子ども、授業、悩み事等を話題に＝協力体制、相互刺激、つながり
- \* 落ち着きのある学習環境の整備  
⇒ハード：教室（総合・特別教室）、廊下、職員室、校庭、机上、……  
ソフト：丁寧な言葉づかい（子ども・教職員）、関わり、笑顔、……

### （１）「関心・意欲」「基礎・基本」「自学自習」「言語能力」

- \* 『学びの約束・ルール』（小中一貫教育構想より）の徹底……5月連休をめぐり  
⇒学習準備、話すとき、聞くとき、書くとき（ノート指導）
- \* ベーシック・ステップアップタイムの内容の統一  
⇒計算、漢字（語彙）、視写、長文読み取り、東書「問題データベース」の活用
- \* 家庭学習の提出の徹底と習慣化 ⇒ 宿題の内容の見直し、自学の内容例の提示
- \* 総合育成支援教育（ユニバーサルデザイン）の視点からの授業づくり  
⇒「1時間の見通し」「視覚教材」「見やすい板書」「話し方」……

### （２）「思考力」「判断力」「表現力」

- \* 1時間の基本的な学習過程による授業の積み重ね  
⇒導入－問題－めあて－ひとり学び－話し合い－まとめ－振り返り  
⇒仕掛け（動機付け）、思考を促す発問、話し合いの視点
- \* 授業研究、中堅若手自主研修等による授業改善、『子ども主体の授業にするための心得』  
⇒国語科（説明的文章）、算数科（課題の大きい内容）を中心に
- \* 読書環境の充実  
⇒「手の届くところに本がある」環境づくり、読書週間の取組  
⇒図書室・視聴覚室の活用 ＝「読書センター」「学習・情報センター」  
⇒学校司書・東山総合支援学校との連携、ぶっくままクラブ
- \* 「道徳科」「外国語活動」「移行措置」「3学期制」「通知表の標準化」への対応

### (3)「基本的な生活習慣・生活リズム」「運動能力・体力」

- \* 健康教育推進計画『重点と具体的な取組』の着実な実践と内容の充実
  - ⇒生活習慣・生活リズム（あ・は・は）の改善
    - ・「生活しらべ」「もっと生活しらべ」の結果活用 = 子ども・保護者へ
    - ・歯、口の健康改善 = 歯みがき指導，歯の健康についての指導
    - ・養護教諭・栄養教諭と学級担任との協働による指導の充実
  - ⇒体育科学習の授業改善（指導方法の共有）
  - ⇒「ロング昼休み」の活用等による外遊びの経験拡大

等

### (4)「人権感覚」「規範意識」

- \* すべての児童の居場所がある学級経営 = 自己肯定感・自己有用感
  - ⇒学級でのルールや約束の徹底 = 『子どもが生き生きと活躍する学級・学習集団づくりの視点』
- \* 児童会活動，ようせいタイム（縦割り活動）の充実
  - ⇒月目標，各種キャンペーン，ロング昼休みを活用した異学年交流
- \* 人権に関わる学習活動の着実な実践と見直し
  - ⇒同和問題にかかわる単元の指導，人権学習，ハートフルタイム，インプロ
  - ⇒新たな人権課題についての学習「発達障害」「L G B T」「情報モラル」等
  - ⇒「にこにこの日」「もっとにこにこになる日」「交流学习」「コリアみんぞく教室」
- \* 「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の実践
  - ⇒「優しいけれど甘くない。厳しいけれど冷たくない。」「感情的な指導は子どもの心に届かない。」
  - ⇒「くらまね」「いじめアンケート」「児童面談」の活用
  - ⇒生指ミーティング，ケース会議，保健室・S C・S S Wとの連携
  - ⇒家庭訪問等による保護者との話し込み，情報共有（「不易」の取組）

### (5)「安心・安全」「危機管理」「防災教育」

- \* 自他の命を守り切る判断力を育てる安全指導 ⇒ 学級活動（安全ノート），避難訓練
- \* 「食物アレルギー」「水泳指導」「いじめ・問題行動」「保護者苦情」等への対応
- \* 各種マニュアルについての共通理解
- \* 校内の危険箇所の確認と整備 ex) 窓際，廊下，遊具，校舎周り 等

### (6)「コンプライアンス」「職場環境・働き方」「連携」等

- \* 社会のルールの遵守，教育公務員としての倫理観の向上
- \* 時間と物の有効活用 = 仕事のコントロール，会議・研修内容の精選
  - ⇒授業や会議等の時間・施錠時刻，仕事のめりはり
  - ⇒公費の適正執行 = 購入物品・教材等の活用，光熱水費・用紙類等の節約
- \* 地域，関係諸機関との積極的な連携
  - ⇒高野中学校区三校「小中一貫教育構想」に基づく実践，連携型O J Tの継続
  - ⇒校区保育所，児童館，東山総合支援学校（サテライト），児童相談所 等
  - ⇒学校運営協議会，P T A，おやじの会 等